授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
日常生活援助技術Ⅱ （清潔）	1年次	通年	1	30	有

科目責任者	野村美穂
授業概要	清潔・衣生活の意義を患者さんにとっての安心・安全・安楽の視点を中心に考え、心身・社会的側面から理解し、適切な援助方法を実施するための基本的な技術を修得する。看護としての清潔ケアの意義を考察する。*シラバス以外に技術の向上を目指し、技術練習時間を設けています。
目標	1.対象者に必要な日常生活行動援助の内容を考え、方法を選択することができる。 2.対象者の安心・安全・安楽・を踏まえた日常生活援助を考え実施することができる。 3.実施した援助を振り返り、対象者に応じた援助技術の課題を明確にできる。 4.日常生活行動援助を行う上での倫理的配慮・礼節・態度を遵守できる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	清潔の意義（生理的・心理的・社会的な意義）	野村	講義
2	皮膚・粘膜の生理的メカニズムとケア（清潔援助の効果） 清潔のニーズとアセスメント	野村	講義
3	援助方法の実際（入浴・シャワー浴・特殊浴槽での入浴）	野村	講義
4	援助方法の実際（部分浴）	野村	講義・演習
5	援助方法の実際（洗髪）	野村他	講義・演習
6	援助方法の実際（洗髪）	野村他	講義・演習
7	援助方法の実際（寝衣交換）	野村	講義・演習
8	援助方法の実際（寝衣交換）	野村他	講義・演習
9	援助方法の実際（全身清拭）	野村	講義・演習
10	援助方法の実際（全身清拭）	野村	講義・演習
11	援助方法の実際（口腔ケア）	野村他	講義・演習
12	援助方法の実際（口腔ケア）	野村	講義・演習
13	援助方法の実際（陰部洗浄・おむつ交換）	野村他	講義・演習
14	援助方法の実際（陰部洗浄・おむつ交換）	野村	講義・演習
15	試験	野村	

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野１　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　医学書院 看護がみえるVol.1　基礎看護技術　メディックメディア
参考書	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第2版　医学書院
評価方法	筆記試験(60%)、技術試験（40%） この科目は、基礎看護学実習Ⅰ－2の履修条件である。